

バドミントン

1. 期 日 令和元年7月22日(月) 開場・受付8:00 監督会議8:30
開会式 9:00 試合開始9:30
男女団体戦(決勝まで) 団体表彰式
23日(火) 開場・受付8:00 監督会議8:30
開始式 9:00 試合開始9:30
男女個人戦(ベスト8決めまで)
24日(水) 開場・受付8:00 試合開始 9:00
男女個人戦 表彰式
2. 会 場 男女とも 7月22~24日……宮城野体育館
3. 競技種目 男女団体戦(2複1単) 男女個人戦 シングルス及びダブルス
※団体戦出場者は登録メンバーとする。但し変更のある時は、朝の監督会議で申し出ること(個人戦の変更は不可)。
※団体戦・個人戦とも単複に同一人の出場は認めない。
4. 競技規則 平成31年度(公財)日本バドミントン協会競技規則及び本大会運営規定による。
5. 大会規則
 - (1) 競技方法
 - ① 各種目ともトーナメントにより優勝を決定する。
 - ② 団体戦は複2, 単1の対抗戦とし, 複単複の順に行う。(どの試合も2点先取勝ちとする。なお, 同一選手が単と複及び複と複を兼ねて出場することはできない)
 - ③ 個人戦は単と複を兼ねて出場することはできない。
 - (2) 大会競技規則
 - ① 準々決勝・準決勝及び決勝は, 団体戦及び個人戦とも21ポイントで行う。ただし, これ以外は15ポイントで行う。延長ゲームについては, 2点差がつくまで行う。①15ポイント時…14オール→最大21ポイント ②21ポイント時…20オール→最大30ポイントまで。
 - ② インターバルは, ゲームとゲームの間が120秒以内, ゲーム中は60秒以内でとることができる。インターバルの際は, 監督がコートまで行ってアドバイスをすることができる。ベンチでは行わない。ゲーム間インターバルの際には, プレーヤーのチェンジエンド、およびベンチの交換(個人戦の場合)を行う。
 - ③ 競技の服装は平成31年度(公財)日本バドミントン協会検定検定合格ウェアとする。
 - ④ ネックレスやミサンガは身につけないこと。ただし, 防汗や整髪のためのハチマキは可とする。
 - ⑤ 着衣背面に学校名を明示する。(文字は, 鮮明な日本字とする。)
 - ⑥ 応援は自然発生的な拍手のみとし, プレー中は行わない。 20cm以内
 - ⑦ ベンチに入っている監督・コーチ・入場許可者以外のサイドコーチは認めない
 - ⑧ 水分補給はふたつきのボトルのみ認める。(ペットボトル可)ただし, ゲーム中の水分補給は主審に
ことわって行う。フロアを汚さないようよう配慮すること。

30cm以内

仙 台 一 中

(3) 申込方法

所定の申込書を県中体連のホームページよりダウンロードし、必要事項を記入して、直接専門部委員長に郵送または持参すること。

①申込先 〒980-0011 仙台市青葉区上杉6-4-1 宮城教育大学附属中学校内
宮城県中体連バドミントン専門部事務局 石崎 洋一 宛

②申込締切 令和元年6月20日(木)必着(17:00まで)

※団体戦出場校は、入力したエクセルシートを miyagibad@yahoo.co.jp までメールにて送信すること。その際、件名に学校名を入れること。

③冷房費について

選手及び応援生徒の健康に考慮して、大会期間中は競技場は冷房を入れて競技を行う。

出場する学校は大会当日、冷房費を持参し、監督会議で納入すること。

団体戦出場校 男女それぞれ1チーム2000円

個人戦出場校 選手一人につき300円

(4) 登録人員

① 団体戦

- ・監督1名(当該校の校長または教員に限る)
- ・コーチ1名(校長が認めた外部コーチ又は校外コーチ、もしくは当該校の教職員。いなくても可)
- ・マネージャー1名(当該校の生徒)
- ・登録選手5~8名

② 個人戦

- ・監督1名(当該校の校長又は教員に限る)
- ・個人戦入場許可者1名(校長が認めた者、もしくは当該校の教職員。いなくても可)
- ・登録選手

(5) 使用器具

- ・平成31年度(公財)日本バドミントン協会検定合格器具とする。
- ・シャトルは日本バドミントン協会の検定に合格した水鳥球を使用する。ただし、準々決勝以降は、上位検定球を使用する。

(6) 審判について

- ① 団体戦は敗者校が審判を行う。主審は原則として教員がするものとする。線審、得点係は生徒でよい。(1巡目については本部で指定する。)
- ② 個人戦の初戦審判は本部で指定する。ただし、原則として線審は勝者校、主審・得点係は敗者校の生徒が行う。(1巡目については線審、得点係を主審校が行う。)
- ③ 団体戦に出場する学校の監督は審判技術を磨き、大会当日まで主審をできるようにしておくこと。
- ④ 団体戦、個人戦ともに、準決勝からは4人で線審を行う。

(7) 選手変更について

- ① 団体戦においては、選手の変更は認める。ただし、選手の追加は認められない。
選手変更は、大会初日の監督会議において、選手・コーチ変更届を提出することで成立する。
- ② 個人戦においては、いかなる理由があろうとも、選手の変更は認められない。

(8) 外部・校外コーチ・入場許可者について

- ※ 外部コーチ……校長の承認した者で、日常的に学校部活動の指導にあたっている者
- 校外コーチ……クラブ・道場などの指導にあたっている者
- 入場許可者……上記のコーチで、個人戦のベンチに入場するもの

① コーチ・入場許可者の資格について

コーチ・入場許可者においては、大会が学校教育管理下にあることを認識し、その品位を保つために、服装を整えるとともに、選手の健康管理と掌握に努め、大会運営に協力するものとする。外部コーチ・校外コーチ・入場許可者については、当該校の校長・教員以外でもよい。

② 外部・校外コーチ・入場許可者の承認について

- ・本大会におけるコーチには、外部コーチ・校外コーチともに校長が認めた者をコーチとして認める。
- ・コーチ・入場許可者は校長が認めた者とし、大会ごとに「コーチ・入場許可者確認書」を大会事務局に参加申込と同時に提出することとする。
- ・コーチ・入場許可者についての紹介は、当該校の顧問のみが校長に進言するものとする。
- ・校長が認めたコーチ・入場許可者においても、コーチとしての品位に欠ける場合、大会運営に非協力的な場合は、大会事務局はその理由を当該校顧問に言明し、ベンチ入りを認めないことがある。
- ・コーチ・入場許可者が当該校の教職員の場合は、「コーチ・入場許可者確認書」の提出の必要はない。

③ コーチ・入場許可者の変更について

- ・コーチ・入場許可者の変更については、監督会議の前に当該校長の書面によって大会事務局まで申し出ること。
- ・大会事務局は、監督会議においてその変更を報告すること。

④ その他

- ・複数校のコーチの兼任は認められない。そのことについては顧問が事前に確認しておくようにする。
- ・競技に対する質問は、団体戦においては監督及び競技者とする（コーチには認めない）。また、個人戦における質問は競技者のみとする。
- ・その他、不備の点が生じた場合は、競技委員長を中心に大会事務局が最終判断を下すことができる。
- ・個人戦のベンチには、原則として、監督が必ず入るものとする。別のコートでの試合などでそれができないときには、監督の分の座席を空けたうえで、生徒や個人戦入場許可者がベンチに入ること。

⑤ 監督・コーチ・入場許可者の服装について

ベンチ入りする監督・コーチ・入場許可者の服装は、襟付きシャツ・長ズボン（ジャージ可）とする。

6. その他

(1) 会場への入場制限について

- ① 保護者の入場制限は設けない。
- ② 生徒に関しては、各チームとも3年生の部員全員と、1・2年生の選手に限り、入場を認める。
- ③ ②で15名に達しない場合は、選手以外の1・2年生を含め、最大15名までの入場を認める。

(2) 駐車場について

宮城野体育館は駐車場が限られているので、各校に駐車許可証を発行し、駐車許可証を持たない車の体育館の駐車場への駐車を禁止とする。近隣の商業施設への駐車は、呼び出しの放送などで試合進行の妨げになるので厳禁とする。

(3) 会場について

- ① 会場の使用については、各学校での事前指導を徹底すること。
- ② 観客席での飲食は可とする。
- ③ 土足は厳禁とする。
- ④ フラッシュを使用した写真撮影は禁止する。
- ⑤ ゴミは持ち帰りを原則とする。
- ⑥ 会場内、会場外ともに、ラケットを使用した練習は禁止する。